令和8年度幼稚園評価シート　（浦和すみれ幼稚園）　幼稚園用

| | |
|---|---|
| 教育目標 | 社会のために役立つ人間の基礎づくり |
| 重点目標 | 1．本園の教育目標、小さな作法が身につくように取り組む<br>2．多様な子ども達一人一人を尊重して関わり、Well-being（幸せ）を保障する教育の実現<br>一人一人の好きなこと、いいところに目を向け、周りに発信する<br>3．工事中の為、ハード面での環境の安全と人的環境（教師）の安心を整える<br>丈夫で健康な身体でいる為の保険衛生の再確認（換気・消毒・手洗いうがいなど）<br>4．２つの目標達成のため「保育計画→導入の仕方→学ばせ方→振り返り」の工夫と改革<br>研修の積極的参加、行事・働き方の見直し |

| 自己評価 | | | | | | 幼稚園運営協議会による評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 年度目標 | | | | 年度評価 | | 実施日　令和8年11月17日 |
| 番号 | 項目No. | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 達成状況 | 次年度への課題と改善策 | 幼稚園運営協議会からの意見･要望･評価等 |
| 1 | 1<br>2<br>3<br>14<br>15 | ・遊ぶときは楽しみ、やるべきことは行うよう保育を進め、社会性を育む<br>・日本の行事を分かるように伝え伝承していく<br>・指導を含め様々な事象を面白がり楽しいと感じるよう進める<br>・講師の先生からの指導をきっかけに日々の保育へ取り入れ、向上を目指している | ・生活習慣と学びの定着<br>・社会性やコミュニケーション力の育成 | ・子ども一人一人が楽しい気持ちで一日を過ごせる保育と指導の充実<br>・紙芝居、制作、歌などを通し、行事を知るきっかけをつくり楽しむ<br>・好きなこと・いいところが増えるよう保育を進める | 平均<br>99.8%<br>ほぼ達成 | ・先生が小さな作法を見本で示すことで子どもに身につけたい<br>・体育､リトミック指導などの取組と関連付けながら、日々の保育で楽しく体力向上を図る<br>・どうして取り組むのか、質問を投げかけたり、理由をわかりやすく伝えたり、自ら考えてやりたい気持ちへと導く | ・NO3・12・15教育、カリキュラム、特別指導などの取り組み十分満足<br>・毎月配信の制作でテーマが決まっているものがほとんどなので、自由な表現の作品も見たい、バランスがとれるといい。<br>・プール指導は今後ないのか、外部へは→昨年近隣施設に問い合わせした結果（1時間一人千円・曜日と時間が決められていて現実的に難しい）行わない判断、プール遊び水遊びは行う |
| 2 | 4<br>5<br>6<br>17<br>18<br>19<br>20 | ・毎朝笑顔で迎え入れ、一人一人視診して把握し声をかける<br>・小さな作法が身につくよう先生自身が実践する<br>・天候気候に留意し、安全に遊べるよう、安全教育を進める<br>・自ら考え、チャレンジしたり、言葉で伝え合ったりして友達と関わる<br>・一人一人のいいところを発信し、自信を持って園生活を過ごせるよう配慮する | ・個に応じた保育の充実<br>・健やかな心身の育成 | ・子ども一人一人が楽しい気持ちで一日を過ごせる保育と指導の充実<br>・自ら考え発信する場を設け、発言しやすい環境をつくる<br>・個々のいいところに気づけるようにクラス全体へ発信していく<br>・嬉しいこと、困ったこと、気持ちを相手に言葉で伝えられる取り組みを実施する | 平均<br>99.1%<br>ほぼ達成 | ・毎朝一人一人の表情を視診し、様子を把握、異変にすぐ気づき、心配な子への声掛けや見守りにつなげる<br>・集会やサークルタイムで、一人一人のいいところを認め、クラスに発信し、自己肯定感が高まるように図りたい<br>・降園時も同様に、状態を視診し、変化には適宜対応していく | ・NO.4ママちょこは普段の様子が見えていい　・NO5.6自由記述欄で先生や園への感謝の言葉が多く書かれありがたい（園側）　・NO19帰りの会でサークルタイム（丸くなって座り皆の顔を見ながら、考えて自分の意見を言う⇔人の話を聞く活動）を見て好感を持った |
| 3 | 7<br>8<br>9<br>10<br>11<br>16 | ・保護者への情報発信に努める<br>・ケガ、事故、トラブルなどは初期対応を早く丁寧に行い、事例の共有を図り、未然防止に努め、報告書を作成する<br>・毎朝の掃除で環境を整えている<br>・園舎建て替えは市と連携し計画的に進める<br>・工事期間中は特に安全な動線を計画し、全員で把握、対応していく | ・安心安全な環境整備<br>・施設の安全管理<br>・分かりやすい情報発信 | ・ケガ、事故、不審者、災害時の対応訓練の実施と確認<br>・毎朝の掃除で環境を整え、危険箇所はすぐに対応する<br>・門、園内巡回による施設・設備・不審者の安全点検を行う | 平均<br>98.8%<br>ほぼ達成 | ・園での出来事(いいこともそうでないことも)はこまめに発信していく<br>・家庭との連携、協力を日々図っていく<br>・工事が続くため、毎朝の清掃で十分な安全確保と登降園時安全な誘導<br>・工事（子ども園移行）に関する情報発信 | ・NO.9安全な環境の不安、出入り小さい門の鍵は開け放しかの質問　→　鍵はかけていない。現在遅刻早退、業者の出入り口、子ども110番の施設であるため<br>・こども園移行や工事に対する複数の質問に応対（詳細は議事録参照）・自由記述欄から園生活を楽しんでいる、幼稚園も先生も大好き |
| 4 | 12<br>13 | ・伝統を大事にしながら、新しいものも考え計画していく　・毎日の振り返りを繰り返し、課題に意欲的に取り組む<br>・職員間の連携、学びあいができる環境を全員で意識し整え、課題に対しては、サポート・支援し合う | ・教職員の研修の充実<br>・ほうれんそうの徹底　・自ら考えて動く意識の向上<br>・働き方改革や仕事の効率化、なるべくこだわらないことの意識化 | ・園長副園長による全教員の保育参観・指導<br>・個人の研修後のレポートの回覧・感想の記述、発表による園内研修の実施<br>・自ら質の向上に向け、一人1つ以上の研修を主体的に受け、全体で共有する | 平均99%<br>ほぼ達成 | ・毎日の振り返り→計画→立案→実際の保育→振り返りを繰り返し、自ら考え、子も先生も成長していく<br>・前向きな声掛けを意識する<br>・活気ある職場環境作りを目指し、先輩後輩関係なく、気づいた課題を話し学び合う雰囲気を構築。支援、サポートし合う体制を整えていく　特にマイナスな言葉→プラスの言葉を意識する | ・外部講師より、先生はいろいろな子へのフォローをしながら考えて動き、集中しやすい環境を整えている<br>・自由記述欄から、園で行った保育を家でも行っている、出来事をよく話してくれる、生活習慣が身についてきている |